

平成28年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	市庁舎免震改修事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	2	1	7	○
政策	23安全に暮らせる社会システムをつくります	担当課室	契約管財課			
施策	233防災対策の強化	担当課室長	谷口 光儀			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	大規模な修繕等に関する長期的な展望を踏まえながら、日々の適正な維持管理の実施によって、施設の長寿命化を図る必要がある。	③平成28年度に取り組む改革・改善内容	工事完了に向け関係部署と調整を行うとともに、完成後の免震装置の維持管理について、最適な方法を検討する。
②①に基づく取り組み結果	日々の適正な維持管理の実施によって、施設の長寿命化を図った。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市庁舎(建物)	意図(対象をどうするのか)	市庁舎の防災拠点としての整備を行い、施設の安全面の確保と利便性の向上を図る。
②事務事業の概要	市庁舎の免震改修工事を実施する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	市庁舎は多くの市民が利用する施設であることから適正な管理を行い、安全・安心、快適に利用できる必要がある。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成27年度の事業の成果	工事を着手し、来庁者や職員の安全確保を務めながら改修工事を進めた。					
②成果を表す指標	指標名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	算定根拠
	i 改修割合		0	38	%	業務取得
	ii					
iii						
③事務事業のコスト	平成26年度決算	平成27年度決算	平成27年度決算(事業費)の主な内訳		平成28年度予算	
事業費(千円)	40,000	806,149	金額(千円)	内容	2,133,850	
国支出金(千円)			782,142	工事関係費		
県支出金(千円)			22,522	調査設計費		
市債その他(千円)	38,500	778,700	1,485	補償関係費	2,095,400	
一般財源(千円)	1,500	27,449			38,450	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	近い将来、首都直下地震が発生すると予想されていることから、1日でも早い免震化が求められている。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	工事が適正に進捗しているか確認するため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成27年度の計画	免震改修工事を実施する(平成27年度分)	平成27年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	免震改修工事を実施した(平成27年度分)	1,450,000	1,450,000	当初	1,450,000	H26からの繰越	0	
				H26⇒27繰越	0			
③達成状況	未完了			補正		806,149	現年分	806,149
				流用・充当	0			
④未完了・非着手の理由	通次繰越のため	平成28年度への繰越額(単位:千円)		643,851				